

collaboration between FFJ 富山 and

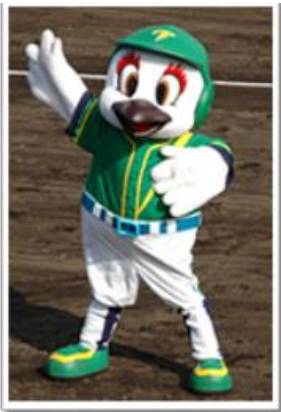


第73回日本学校農業クラブ北陸大会 225日前イベント

おでかけ ライティー コラボ

中農にやって来る～

3月15日（火）13時



富山サンダーバースのマスコットキャラクターのライティーが、将来の夢（富山サンダーバースを応援してくれるみんなとお友達になること）の達成のため、ライティー自ら富山の街へ出て、県民の皆様と会いに行きます！

富山サンダーバースのマスコットキャラクターのライティー君と富山サンダーバースベースボール社長永森茂様が第73回日本学校農業クラブ北陸大会の実施に際して広告協賛金を持参されます。県内農業学科で学ぶ生徒で組織するFFJ 富山では昨年12月から県内農業学科のある高校の校長先生を筆頭に農業科の先生方が県内の企業を訪問、電話やメールを通して大会協賛金を集めています。残念ながら3月1日現在、当初予定金額の1/3しか集まっていません。また、同大会が県内で実施されることが広く県民に知れ渡っていないことがわかりました。

そんな折りに、富山サンダーバース様に相談したところFFJ 富山の地域の農業の発展、地域の自然環境を守る、SDGsに取り組む等の活動に共感していただき4月1日からコラボすることになりました。その前段階として、今回は大会225日前イベントとして「おでかけ ライティー」企画とコラボすることにしました。

当日は、FFJ 富山の会長予定の園芸デザイン科2年大村宇道さん、FFJ 中農会長予定の生物生産科2年三浦颯真さんがプロ野球新リーグ・日本海オセアンリーグ開幕を間近にひかえ初代王者を目指して体力を付けていただきたく本校生徒が栽培した“てんたかく”1俵を贈呈します。なお、米俵は南砺福野高校がある南砺市で例年、夏に開催される米俵を持ち上げ力を競う城端別院盤持ち大会に使用されるものを使用します。今回はその米俵を作製しておられる小矢部園芸高校付近である小矢部市平桜の真宗大谷派吉倉山平桜専龍寺 可西 映秀さんに特別に用意していただきました。また、生徒が飼育している黒毛和牛も贈呈します。なお、米や牛肉は本校生徒が課題研究で農業の6次産業化を勉強するために設立した模擬株式会社「Un Order」から購入しました。模擬株式会社は昨年4月に設立され、当初は本校のお米や牛肉、野菜を使用して「中農カレー」を本校農産物即売会で販売するつもりでした。新型コロナウイルス拡大により実現しませんでした。そこで、今回、「中農カレー」に用意していたてんたかくと黒毛和牛を提供させていただきました。「中農カレー」は夏に開催予定のコラボ試合に是非、提供したいと思います。